

柏崎市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略案 パブリック・コメント一覧

No.	受付日	意見の概要	回答所管課	意見に対する回答	計画への反映
1	R 1. 12. 13	<p>【巨大なリチウムイオン電池を設置し、実用化を目指せ】 世界では既に5,000世帯を対象にしたリチウムイオン電池（巨大バッテリー）が実用化されています。柏崎市では、耕作放棄地や空き家等が多数あり、雑草が繁茂して著しく景観を損なっています。ここに太陽光発電設備を設置して、得られた電気エネルギーを前述のバッテリーに蓄電して、その電力を使用したらいかがでしょうか。ご検討をお願いします。</p>	電源エネルギー戦略室	<p>現在、平成30（2018）年3月に策定しました「柏崎市地域エネルギービジョン」に基づき、新たなエネルギーのまちの形成を目指しています。太陽光などの再生可能エネルギーの利活用や水素などの次世代エネルギーの検討・研究に併せ、蓄電池の導入も進めているところですが、引き続き、再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んでまいります。</p>	無
2	R 1. 12. 13	<p>【谷根の不動さんの名水の活用を】 川内集落の水源地から、いろは坂を登り六抔トンネルを抜けると谷根集落に至ります。その小俣川の下流に面した一郭に不動さんがあり、日照りがどんなに続いても枯れることのない清水がこんこんと湧き出ています。以前は谷根集落の全家庭での水道水は、簡易水道に引いてこの水で賄われていました。しかし現在の谷根集落では、赤岩ダムの水を浄化して使用しており、不動さんの水は、全て谷根川に捨てられています。 スーパーに行くと、様々な飲料水が売られています。ここに谷根の不動さんの水を清潔な容器に入れて売ったら如何でしょうか。谷根集落の人々に水利権料を支払っても採算が取れると思います。 是非ご検討くださいますようお願い申し上げます。</p>	上下水道局 経営企画課	<p>不動さんの名水は、新潟県中越沖地震以降、水量、水質ともに安定しない状況になっています。 市でも以前、水道水のペットボトル販売を検討した経緯がありますが、採算が取れないことが判明したことから、御意見をいただいた商品化はいたしません。 この度は、大変貴重な御意見をいただきありがとうございました。</p>	無
3	R 2. 1. 8	<p>【I - 1 地域産業を活性化する】 柏崎市認証米「米山プリンセス」の認定数量のみがK P I というのはおかしい。通常の柏崎産コシヒカリと比較しどれだけ有利販売になったか、要は付加価値が付いたかというところをK P I とすべきである。 ブランド化というからにはその認証基準や品質がしかるべき所で評価を受け、それが付加価値となった上で話題にならなくてはいけないのではないのでしょうか？ K P I には、そうした認知度や付加価値に関する値を設定しないと、努力する方向が間違ってしまうと思います。</p>	農政課	<p>柏崎産米ブランド事業の推進に当たっては、付加価値額増加による米生産者の所得向上を目標に、認定数量の増加を図りながら、厳しい評価基準による安全でおいしいお米であるとの認知度アップに重点を置き、取り組んでいるところです。 実際に昨年の販売価格は約1,000円/kgと通常のコシヒカリの2～3倍となっており、確実に付加価値が生まれています。しかし、K P I として設定する場合、その販売額の把握が必要ですが、認定された米山プリンセスは生産者個人において販売されているものであり、市として正確な販売額を把握することが難しい状況です。 また、様々な取組を行いながら、認知度向上に努めていますが、どのような方法でその数値を把握することがより正確なのかを研究しています。 したがって、現段階でのK P I は認定数量としますが、今後も、生産者の所得向上を図るため、付加価値額や認知度の向上という観点を持って柏崎産米ブランド事業を進めていきます。</p>	継続して検討

No.	受付日	意見の概要	回答所管課	意見に対する回答	計画への反映
4	R2.1.8	<p>【Ⅰ-2- (2) 創業・起業の推進】</p> <p>以前からですが、0からの「起業」に偏りすぎているのではないのでしょうか？</p> <p>地元企業の第二創業や新分野進出・業態転換を支援・サポートしたほうが、既存の経営基盤を活用できてリスクが低い上、地元貢献や経済の活性化に繋がると思われます。</p> <p>地元企業の経営陣に対して、時代の変化に合わせて経営を見直し、新たな事業に取り組もうという積極性を醸成するような機会や情報の提供、支援・サポートを考えてほしい。</p>	商業観光課	<p>市では、御意見のとおり、企業の新分野進出・業態転換が地域経済の活性化につながるものと考えており、「創業・起業の推進」については、新規創業と併せて、市内事業者の新たな分野への取組についても支援しています。</p> <p>具体的には、新規創業のみでなく、別会社を立ち上げ新事業を始めなどの第二創業の要件を満たす企業も対象として、創業資金への利子補給、信用保証料補給や広告宣伝費等の経費補助等を行い、資金面のサポートを行っているところです。</p> <p>つきましては、<u>第二創業や新分野進出の促進にも取り組むことが分かるよう、計画の記載を一部修正いたします。</u></p> <p>また、商工団体、金融機関、NICO（公財）にいがた産業創造機構）等の各機関では、新規創業のみに限らず、新分野進出・業態転換を含む経営全般の相談を受けており、さらに、県内の金融機関、民間企業等では、新商品・新サービスを生み出す可能性を持つ、ビジネスプランコンテスト、ビジネスマッチング個別商談会等が開催されています。</p> <p>引き続き、支援機関との連携及び情報共有を行いながら、有益な情報提供を行い、地元企業のチャレンジを促進していきます。</p>	有
5	R2.1.8	<p>【Ⅲ-2 柏崎らしさを創出する】</p> <p>KPIに柏崎ファンクラブの会員数を当てはめるのは間違っています。これを目標にイベントなどで会員数を増やすこと自体が目的となつてはいけません。</p> <p>会員への情報発信や加盟店を巻き込んだ会員特典キャンペーンに対して、どのような会員（性別・年齢）がどれだけ参画したかのデータを分析・評価し、目標を定めることが出来る体制に移行すべきです。その後にはかかるべきKPIを設定すべきと考えます。</p> <p>また、令和元年度事業峻別の評価結果にて、市長による最終的な評価は「運営主体を市から他へ移し、事務局を含めて民間主体で活動できる体制構築を検討すること。」とあり、運営主体が変わる可能性があるなかで、複数年後の目標値として会員数を設定するのは正しいと思わない。</p>	元気発信課	<p>柏崎ファンクラブの会員数を増やすことが目的ではなく、柏崎の応援者として関わっていただける貴重な人材として、より多くの会員を獲得しながら、会員自ら柏崎の魅力発信を行うことにより柏崎の認知度を高め、多くの方々に柏崎を訪れていただくなど、関係人口を増加させていきたいと考えています。</p> <p>なお、事業峻別の評価を踏まえた将来的な在り方については、検討を重ねることとしていますが、運営主体が変わる場合でも、ファンクラブの主旨が変わるものではなく、引き続き、柏崎を応援することで、シビックプライドの醸成と関係人口の増加につなげてまいりたいと考えています。</p> <p>これらを踏まえて、現段階でのKPI項目の変更は行いませんが、今後、柏崎ファンクラブとしては、柏崎の認知度を高めるためのプロモーションに加え、移住・定住を促進する施策を展開する中で、新たなKPIを検討してまいります。</p>	継続して検討